

武山駐屯地において

野原 慧

僕は、第6回のカレッジ防衛モニター活動としてU-11の体験搭乗に参加するために自衛隊神奈川地方協力本部へと向かった。1番乗りで到着。しかし、今日の参加メンバーは2人だけだった。武山駐屯地に着いてしばらく待機した後、ヘリポートで体験搭乗の注意事項を聞いた。そこで集合写真。自分のフライトの順番は3番目だったため写真撮影後、また数十分程待機。いよいよ自分のフライトの番がきて、ヘリに乗り込み、シートベルトを閉め扉が閉じられた。機体はゆっくりと上昇し、浮かび上がることを感じた。ヘリはさらに上空へと舞い上がった。十分分ではあったが空中散歩を楽しんだ。

また、8月の富士総合火力演習で偵察オートバイがU-11から降り立ち戦闘を展開するカッコよかった場面が印象に残っていたので、まさにそのヘリに搭乗できたということで気持ちが高ぶった。

機内ではかなりの騒音や振動があり、隣の人と普通に会話すること、立ったまま乗ることは難しいと感じた。ヘリを降りてヘリポートをあとにしてロビーに戻ると、組紐教室が開かれていた。そこで組紐作りにチャレンジ。作り方を学んで完成した組紐は、家でキーホルダーとして実際に使っている。



東方ヘリのパイロットと中央筆者（中央）

三自衛隊の航空機を体験して

片岡初実

カレッジ防衛モニターの活動第6回は、陸上自衛隊武山駐屯地にてU-11の搭乗を体験した。武山駐屯地といえば神奈川県横須賀市にある比較的身近にある駐屯地であることは知っていたが、実際に足を踏み入れたのは今回が初めてだった。本部から車で移動。駐屯地入り口付近にたまらずに入ったのが、「陸上自衛隊武山駐屯地」「海上自衛隊横須賀教育隊」という2つの大きな看板だった。体験搭乗のために訪れたのは陸の方だが、武山には前述の陸、海のほかに航空自衛隊も隣接しており、広大な敷地に三自衛隊が揃っていることを知った。

ヘリポートまで移動するとU-11はすでに待機しており、実際に目にしたそれは想像していたよりも大きかった。ローターの回転で砂が舞い上がった。さらに乗降口に近づくとその回転するローターの迫力がすごかったので私は少し怖いとも思った。しかし機内の窓から流れる眺めのよさで怖さも消えてしまった。U-11は、CH-47に乗ったときと比べて離陸が早かったように思ったし、内部も狭かった。どちらもヘリコプターだが、用途も異なり、二つに乗って比較できるといってもモニターならではの貴重な経験だと感じた。

搭乗後は、船乗りの先輩から後輩へのコミュニケーションなどとして海上自衛隊に伝わる組紐（ロープ編み）の体験もした。体験したのは「かがり編み」といい、時計回りに4本の紐を回転させて編むという方法。不器用な私はきちんとできるか自信がなかったが、丁寧に教えてもらったので完成した。体験搭乗だけでなく、このように自衛隊の日常的なことを体験することができるということも良いと感じた。

モニターとして海上自衛隊厚木基地でのP-3C、航空自衛隊入間基地でのCH-47、そして今回のU-11の体験搭乗を終えて三自衛隊の基地および航空機を体験することができた。

一年弱という期間の間で三度も、しかも陸海空三自衛隊のものを体験でき大変充実した時間だった。



組紐と格闘中の筆者